

はぐくみの軸強化方針 検討会 (論点資料)

2022年7月28日 第4回
札幌市

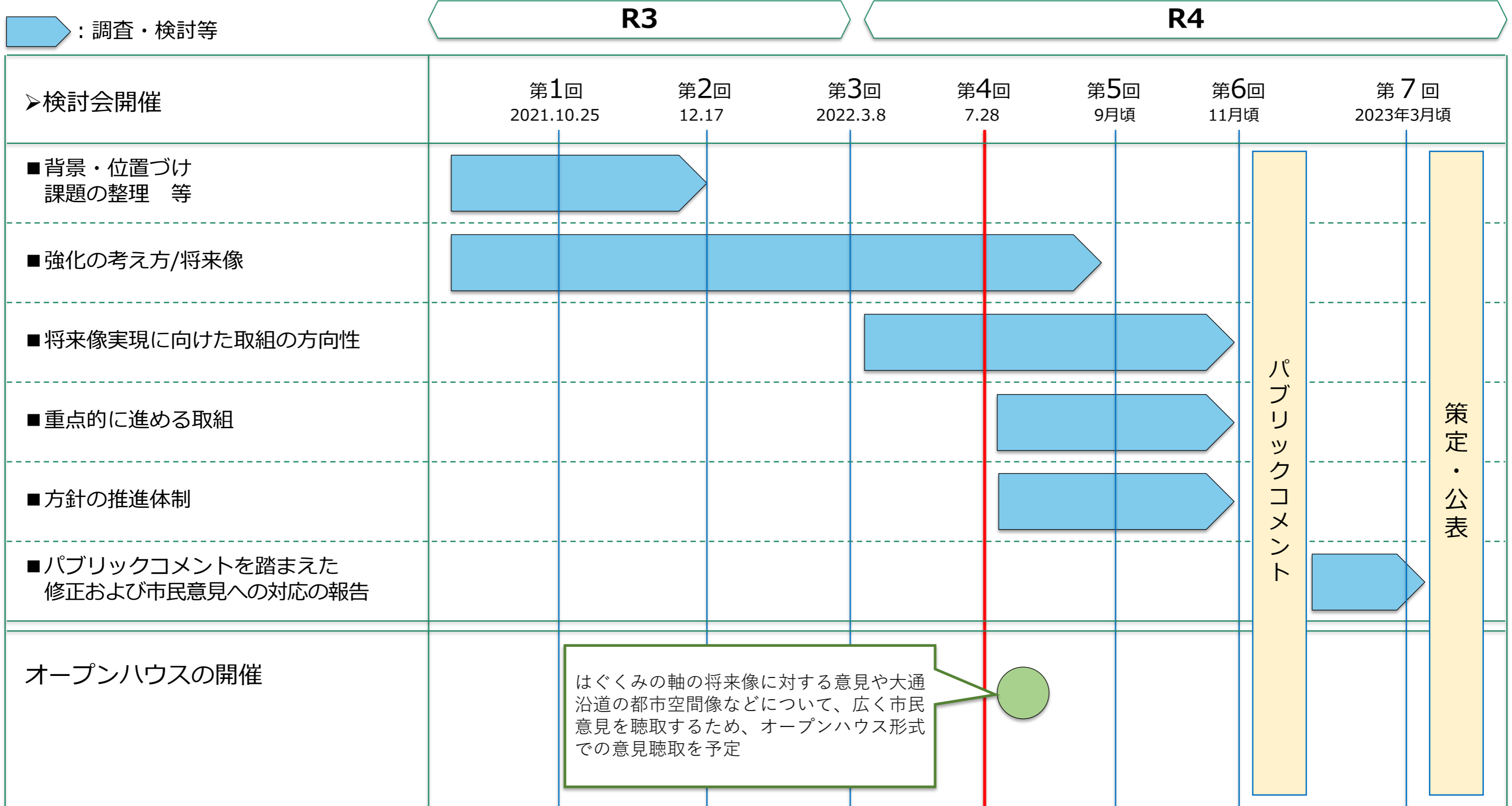
目次

策定及び検討会の進め方	・ ・ ・ ・ ・	P1
第3回検討会での指摘事項と対応方針	・ ・ ・ ・ ・	P2
第3回検討会からの主な見直し		
・ 論理展開の再整理	・ ・ ・ ・ ・	P3
・ 理念等	・ ・ ・ ・ ・	P4
・ 将来像	・ ・ ・ ・ ・	P5
全ゾーン共通の取組の方向	・ ・ ・ ・ ・	P6

策定及び検討会の進め方

- 令和3年度は、合計3回の検討会を開催し、はぐくみの軸を取り巻く歴史的背景・現状・課題などを整理・分析のうえ、はぐくみの軸全体の将来像を中心に議論を進めてきた。
- 令和4年度は、将来像実現に向けた取組の方向性を議論し、方針の素案を取りまとめ、パブリックコメントを経て札幌市において方針を策定する。

概略スケジュール



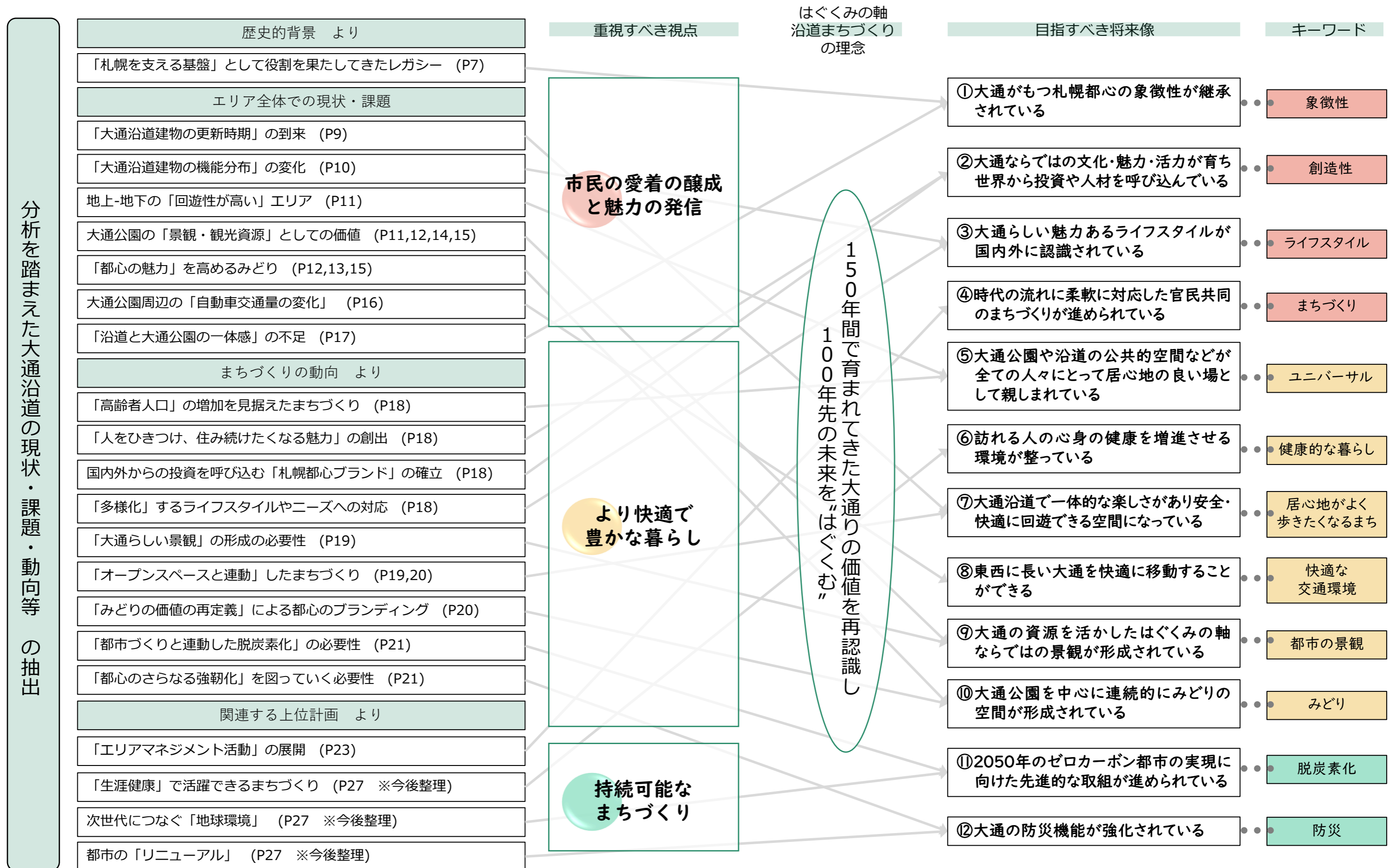
本日

第3回検討会での指摘事項と対応方針

テーマ	no.	意見の要約	対応方針	
対象エリア、計画期間、計画の位置づけ	1	他の骨格軸等との関連の中でのはぐくみの軸の重要性が市民に伝わり、はぐくみの軸強化について考えるべきだと共感して貰えるシナリオを整理すべき	・R3年度まとめ（R4.3発行）にて整理 ・方針本書『背景と目的』にて再整理	
	2	対象エリアの図を、東西南北の少し広めの範囲も含めて表示し、周辺のみどりや機能・歴史性との関連を可視化し、その中でははぐくみの軸の重要性を表現すべき	・方針本書『対象エリア』修正予定	
現状と課題のまとめ	3	歴史の振り返りをしっかりと行い、大通の歴史性や固有の価値をいかしていくことの重要性を強調し、今後のあるべき姿への繋がりが分かる書き方にしてほしい	・方針本書『歴史的背景』にて再整理	
	4	明治開拓期から名残が残る、大通の北側は官／南側は民／それを繋ぐ空間が大通、という発想も重要		
はぐくみの軸全体の将来像	5	計画の論理展開を整理すること。大通の役割、行政計画から導き出される視点、時代のトレンドなどと課題をあわせて、何が求められているかという視点から将来像を描いてほしい。	・方針本書にて再整理	
	6	この方針の内容は市民の方に正しく伝わらなくてはならない。キーワードや表現の整理も含め、本来の方針の目的に立ち返って構成の精査をしてほしい。		
	7	計画の時間軸を明確にしてほしい。遠い将来には高い目標を設定し、その上で20年間での計画を考えてはどうか。	・方針本書『目標年次』にて時間軸の考え方を明示	
	8	将来像3では、大通公園を利用する行動パターンが違う人々を想定し、公園利用の目的分析から、何が必要かを検討して分かりやすい言葉で示すべき	・ご意見を踏まえて「将来像」「方針」を検討	
	9	将来像の文が長いのでは。もう少しコンパクトでキャッチーな見出しになるといい。		
	10	イベント時や日常など、季節や時期による使われ方の違いなども盛り込むべき。市民が公園に日常的に集う豊かなライフスタイルは、人々の定住や観光客の増加などに繋がる。		
	11	将来像4について、これまでの検討会でも意見のあったウォークアブル空間の強化や時代に合った交通手段などの大切さが分かりやすいよう、「道路空間の柔軟な活用」などのキーワードを入れてはどうか。		
	12	道路と公園の一体感の持たせ方がイメージしにくい。沿道建物の1階に賑わい空間を設けるのであれば、道路の横は危ないイメージがある。車道を集約化してしまうなども一つの案では。		
	13	将来像5について、物理的に植栽が繋がるだけでなく、どういった「みどり」が良いのか考えるべき		
	14	将来像6の「多様な主体の連携」はもっと踏み込んだ表現にし、様々な関わる人たちと意見交換をして考えていくフィールドも用意しながら進める、という内容を入れてほしい。		
	15	将来像の中で、もう少し地上と地下との連携について言及してほしい。		
	16	6つの取組分野で分類する事が分かりやすいか、表現を再度検討すべき。		
	17	取組み分野や理念、ゾーン毎の説明に繋がりがやすいよう、将来像の各項目を一言で表すキーワードを明確にしては。		
	18	将来像1と将来像2は文章のつながりがおかしい。改めて方向性を整理すべき。		
	19	将来像5でみどりの展開と都市の強靱化はひとまとめにできないのでは。将来像3がみどりと結びつくほうが伝わりやすいのでは。		
	20	将来像のイメージ図は誤解を与えない表現にすること	・「将来像」のイメージ図を再調整 (第5回検討会にて取扱予定)	
	ゾーン毎のまちづくりの方向性	21	沿道空間がゾーン毎に分かれるのではなく、大通公園の連続性をつくっていくことも考えていくべき	・全ゾーン共通の取組の方向とゾーン毎の取組の方向を分けて説明
		22	全てをゾーン毎に分けて考えるには無理がある。軸全体で考えるべき事とゾーン毎に分けて考えるべき事を整理すると分かりやすくなるだろう。	
		23	ゾーン毎のイメージ断面の意味合いや、表現の方針について再度整理すべき。	・方針本書で再整理 (第5回検討会にて取扱予定)
		24	全体の将来像とゾーン毎の将来像の関係性の整理が必要。表現の抽象度にもばらつきがありわかりにくい。	
25		方針策定に向けて、記号の意味や用語の使い分けについてもきちんと整理していくこと。		
26		ゾーン毎のイメージ図の違いが理解しにくい。補足が無くても分かりやすい表現にすべき。		
27		ゾーン毎の断面図では特にみどりの変化が分かりにくい。全体の将来像のイメージは分かりやすいため、ゾーン毎の方も上手く表現できるといい。		
28	歴史や現状・課題から、まちづくりの理念や将来像がどういう繋がりで導き出されているのかわかりにくい。将来像を描くプロセスについても分かりやすく表現すべき。	・方針本書で再整理		

第3回検討会からの主な見直し（論理展開の再整理）

- 「計画の論理展開を整理すること」というご意見を踏まえ、歴史、上位計画、現状・課題、まちづくりの動向などと「目指すべき将来像」の関連を明確に示しました。（詳細は本書P7～27参照）
- 「将来像はコンパクトでキャッチーな見出しになるといい」「将来像の各項目を一言で表すキーワードを明確にしては」というご意見を踏まえて将来像を精査し、短いキーワードで表現しました。



参考 第3回検討会からの主な見直し（理念等）

- 各修正事項等を踏まえ、方針本書策定に向けて『理念等』を下記の通りに見直しました。

第3回検討会

（仮称）はぐくみの軸強化方針 策定の目的

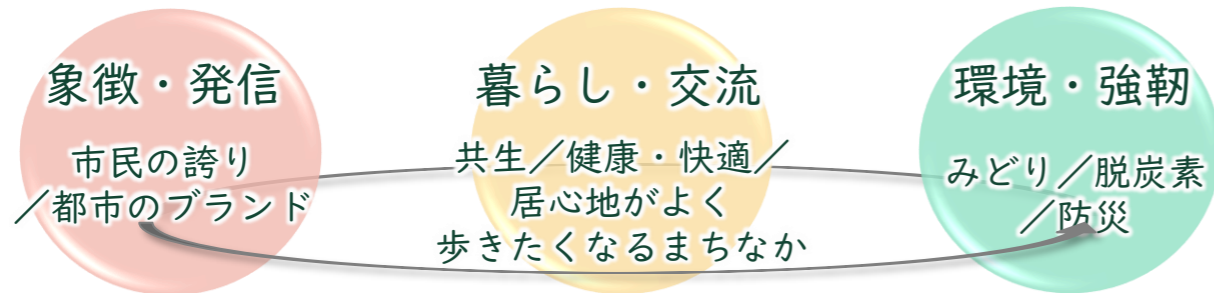
都心の東西軸としての魅力を強化していくため、都市開発の気運の高まりに合わせて強化方針を策定し、大通公園などの地域特性を生かした沿道のまちづくりを促進していく。

そして次の100年に向け、時代の流れに柔軟に対応しながら新たな価値を創造し続け、札幌市民が世界に誇れる、魅力と活力にあふれる札幌都心の実現に寄与することを目指す。

はぐくみの軸沿道まちづくりの理念

150年間で育まれてきた大通の価値を再認識し
100年先の未来を“はぐくむ”

はぐくみの軸の今後を検討する上で特に重視すべき視点



今回

はぐくみの軸強化方針 策定の目的

都心の東西軸としての魅力を強化していくため、都市開発の気運の高まりに合わせて強化方針を策定し、大通公園などの地域特性を生かした沿道のまちづくりを促進していく。

そして次の100年に向け、時代の流れに柔軟に対応しながら新たな価値を創造し続け、札幌市民が世界に誇れる、魅力と活力にあふれる札幌都心の実現に寄与することを目指す。

大通沿道の現状・課題・動向等

はぐくみの軸の今後を検討する上で特に重視すべき視点



はぐくみの軸沿道まちづくりの理念

150年間で育まれてきた大通の価値を再認識し
100年先の未来を“はぐくむ”

目指すべき将来像①～⑫

キーワード

- 象徴性
- 創造性
- ライフスタイル
- まちづくり
- ユニバーサル
- 健康的な暮らし
- 居心地がよく歩きたくなるまち
- 快適な交通環境
- 都市の景観
- みどり
- 脱炭素化
- 防災

第3回検討会からの主な見直し（将来像）

第3回検討会でご提示した「はぐくみの軸全体の将来像」と、今回新たに整理した「はぐくみの軸全体で目指すべき将来像」の対応関係は下記の通りです。

第3回検討会

■ はぐくみの軸全体の将来像



今回

■ 12項目に分解

- 将来像①【**象徴性**】
大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている
- 将来像②【**創造性**】
大通ならではの文化・魅力・活力が育ち 世界から投資や人材を呼び込んでいる
- 将来像③【**ライフスタイル**】
大通らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている
- 将来像④【**まちづくり**】
時代の流れに柔軟に対応した 官民共同のまちづくりが進められている
- 将来像⑤【**ユニバーサル**】
大通公園や沿道の公共的空間などが 全ての人々にとって居心地の良い場として親しまれている
- 将来像⑥【**健康的な暮らし**】
訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている
- 将来像⑦【**居心地がよく歩きたくなるまち**】
大通沿道の一体的な空間を、安全・快適に楽しく回遊できる
- 将来像⑧【**快適な交通環境**】
東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる
- 将来像⑨【**都市の景観**】
大通の資源を活かした はぐくみの軸ならではの景観が形成されている
- 将来像⑩【**みどり**】
大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている
- 将来像⑪【**脱炭素化**】
2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた 先進的な取組が進められている
- 将来像⑫【**防災**】
大通の防災機能が強化されている

市民の愛着の醸成と 魅力の発信

- ・ 象徴性
- ・ 創造性
- ・ ライフスタイル
- ・ まちづくり

より快適で 豊かな暮らし

- ・ ユニバーサル
- ・ 健康的な暮らし
- ・ 居心地がよく歩きたくなるまち
- ・ 快適な交通環境
- ・ 都市の景観
- ・ みどり

持続可能な まちづくり

- ・ 脱炭素化
- ・ 防災

本日の論点

①将来像実現のための取組の方向について

- ・はぐくみの軸の将来像を実現していくにあたり適切な内容になっているか？ など

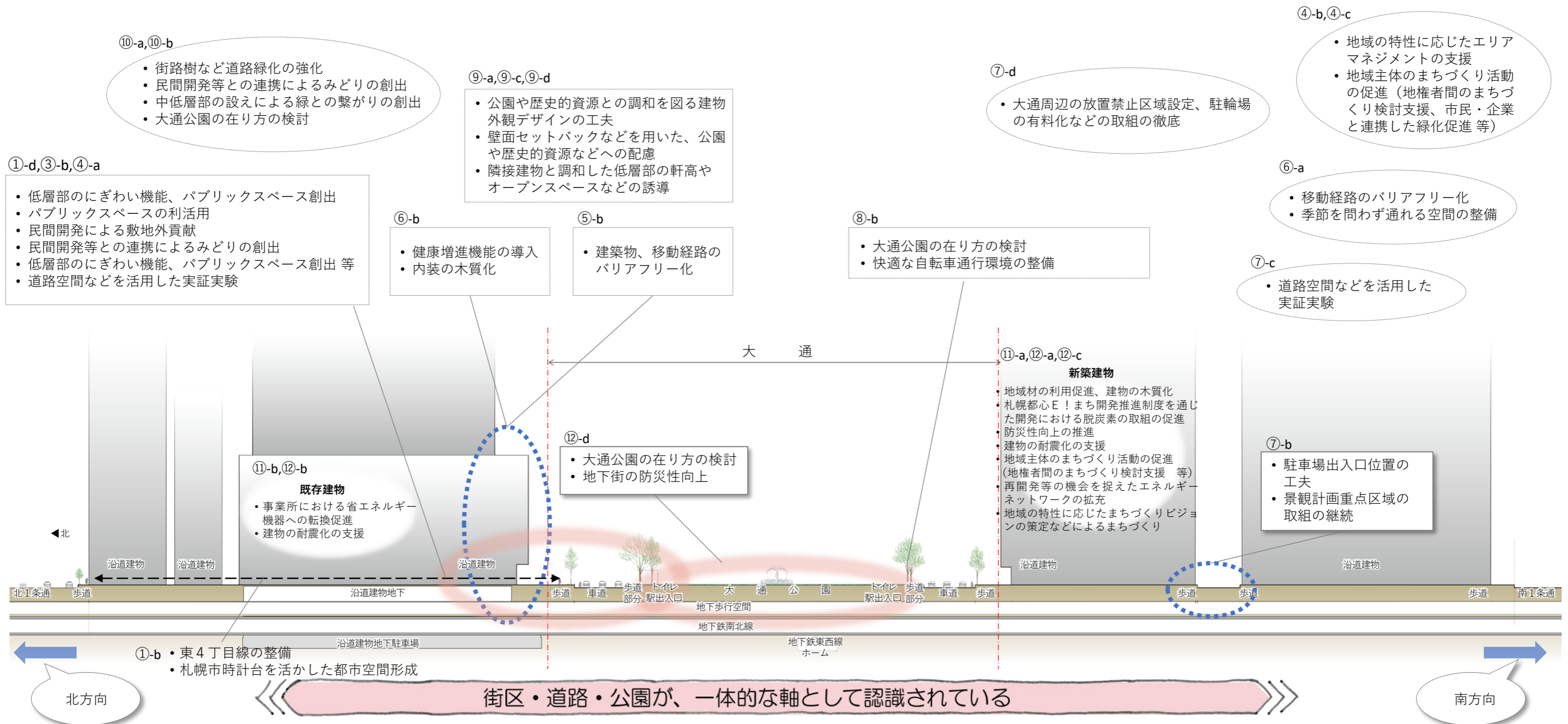
②はぐくみの軸ならではの景観形成の考え方について

- ・はぐくみの軸ならではの都市景観を形成するにあたり、考える取組・配慮は何か？ など

③大通公園と沿道の一体的な空間創出のための具体的手法について

- ・はぐくみの軸ならではの沿道と大通公園との関係性を構築するために、どのような配慮をすべきか？ など

全ゾーン共通の主な取組例 (詳細は本書P41,42参照)



※今後取組の方向策定に向け、イメージイラストなどを追加予定